

## 持続可能な社会に向けた IoT 活用 VPP の実証例（概要）

VPP(Virtual Power Plant:仮想発電所)とは、電力の主に需要家が所有し送配電網に接続される分散エネルギー資源を IoT 化することで、アグリゲータが集約制御できる仮想的な発電所に見立て、発電事業者、小売事業者、卸電力市場、広域電力取引網間で電力を融通する事業モデルである。

本講演では、経産省の実証事業として平成 29 年から 5 年にわたって継続されている実証事業の 1 つを取り上げる。この知見に基づき、長期的なエネルギーミックスに向け、より持続可能性の高い分散エネルギー社会を加速する動きを、電力システム改革に合わせて紹介し、技術を支える皆様の活発なご議論を期待したい。